



審査員
特別賞

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社
株式会社地域未来研究所
富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社

「Bluetoothを用いた
所要時間提供システム」

「現在の正確な所要時間はどうか」を算定するIoTシステム

高速道路の利用時に、目的地までの正確な所要時間がわかると計画的な移動が可能となる。中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京、地域未来研究所、富士通コネクテッドテクノロジーズは、より正確な所要時間提供を目的に、3社で連携してBluetoothを用い

た所要時間提供システムを構築した。

高速道路ではトラフィックカウンターを設置し、通行する車の速度から所要時間を算出しているが、本システムは、走行する車両に搭載されたカーナビやスマートフォン等のBluetoothのMACアドレスを活用する。

高速道路の複数地点に専用アプリをインストールした富士通製スマートフォンを設置。あるMACアドレスを持つ車がどの地点を何時に通過したかによって、現在の所要時間を算定するものだ。比較的簡易で柔軟な所要時間算定ができることと、著しい渋滞時に精度よく所要時間が算定できることが特徴である。なお、スマートフォンは、天候等を加味し、専用のボックスに入れ稼働させている。

システムは、休憩施設に立ち寄った車両等の通常走行と異なるMACアドレスを取得してしまうため、これらを除くデータクレンジングアルゴリズムを開発し、実装している。

図 Bluetoothを活用した所要時間算定

